

第 18 回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座のご案内

地域における医療・介護連携を図り、効果的な歯科保健医療サービスを提供できる体制整備を推進することを目的とし研修会を開催しますので、多くのご参加を賜りますようお願いいたします。

主催 三重県・三重県歯科医師会
日時 令和5年8月27日（日）午後2時～午後4時
会場 ◎Web 受講 ※Zoom ウェビナーを使用
◎会場受講（三重県歯科医師会館：津市桜橋2丁目120-2）
演題 「生活」の中に食べる機能を維持するリハビリを取り入れよう
講師 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
摂食嚥下リハビリテーション学分野 准教授 中川 量晴 先生
※詳細は裏面をご覧ください。

対象 歯科医療従事者、医療従事者、行政職員、介護職員等

申込方法 ◎Web 受講の場合

必ず期日までに、下記 URL または QR コードからお申込みください。

URL <https://forms.gle/LCULDPHche8QturS8>
登録されたメールアドレス宛、8月下旬に、研修の視聴方法等の詳細をご連絡いたします。

◎会場受講の場合 <定員：150名>

必ず期日までに、裏面、参加申込書にてお申込みください。

※先着順（定員を超え、受講できない場合に限り連絡をいたします。）

申込締切 令和5年8月10日（木） <参加無料>

<QRコード>



※三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第5次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方は参加申込時にご連絡ください。なお、申請にあたり三重県歯科衛生士会に氏名を連絡しますのでご了承ください。

※感染症の流行や悪天候等により、やむなく中止となる場合は、当日の午前9時までに三重県歯科医師会ホームページに掲載します。

<お問合せ先 三重県歯科医師会事務局（担当 辻） TEL059-227-6488>

「生活」の中に食べる機能を維持するリハビリを取り入れよう

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

摂食嚥下リハビリテーション学分野 准教授 中川 量晴 先生

昨年度は、嚥下障害に関する新しい知見を交えて、嚥下機能を維持するために必要な支援についてお話しをいたしました。今年度はアップデートされた新情報をご紹介するとともに、要介護高齢者や嚥下障害患者に対するベーシックなリハビリについてお話ししたいと思います。教科書にも載っているリハビリ方法を今一度一つずつおさらいし、負担を少なく最大限効果を発揮させるポイント、実は誤解されている手技などをご紹介します。一方で、教科書などには載っていないものの、実際には有用なリハビリ方法もいくつか提示いたします。リハビリはコツコツと継続することで効果が現れるものですから、長期間続けられるように工夫することが大切です。暮らしの中で日常的に為される動作をリハビリに結び付けることができれば、それは最も効果的なリハビリと言えるでしょう。起床して身体を起す、ベッドから立ち上がる、トイレへ行く、入浴するなどの生活動作の中にリハビリ的な要素を取り入れる工夫についてお話しいたします。地域包括ケアの「食べる」ことの支援にお役立ていただければと思います。

【略歴】中川 量晴（なかがわ かずはる）

2009年3月 日本大学大学院 歯学研究科 修了

2009年4月 日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 専修医

2010年4月 昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 助教

2013年4月 藤田保健衛生大学（現、藤田医科大学）医学部 歯科 助教

2016年4月 同 講師

2018年4月 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 助教

2020年5月 同 摂食嚥下リハビリテーション学分野 助教

2022年4月 同 摂食嚥下リハビリテーション学分野 准教授

現在に至る

日本老年歯科医学会 認定医・専門医・指導医、摂食機能療法専門歯科医師、代議員

日本障害者歯科学会 認定医、代議員

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士、評議員

日本臨床栄養代謝学会 認定歯科医

第18回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座参加申込書

（会場受講用）

所属		電話	- -
氏名	ふりがな（ ）	職種	
三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第5次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方はチェック☑を入れてください（三重県歯科衛生士会経由）			<input type="checkbox"/>

<お申込み先> 三重県歯科医師会事務局 FAX 059-227-0510 / 〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2